

MORNINGSTAR
ENGINEERING



MIDI BOX

取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

はじめに	2
ハードウェア	2
内部ジャンパースイッチ	4

はじめに

Morningstar MIDIBOX をご購入いただきありがとうございます。MIDIBOX は小さなパッケージに多くのアウトプットを搭載した、MIDI スプリッターボックスです。標準的な 5pin MIDI 入力を 8 つのアイソレートされた 3.5mm TRS MIDI 出力へ分配します。入力された MIDI 信号は 5pin MIDI スルーからそのまま出力も可能です。

ハードウェア



MIDI IN – MIDIBOX が MIDI 信号を受け取る 5pin MIDI 入力です。



MIDI OUT - 入力された MIDI 信号をスルーする 5pin MIDI 出力です。



9VDC - 電源を接続します。9VDC センターマイナス、20mA。故障の原因となるため 9V の電源のみを接続してください。

ポート 1-6 - tip/ring を選択可能な 3.5mm TRS MIDI 出力です。接続先の MIDI デバイスの tip/ring 設定に合わせて変更することで、MIDIBOX はあらゆるデバイスに対応します。変更は内部ジャンパースイッチで行えます。詳しくは「内部ジャンパースイッチ」の項目を参照ください。

ポート 7-8 - この 2 つのポートは標準的な規格である MIDI via tip で固定されています。

MIDI インジケータライト - MIDIBOX が MIDI 信号を受信すると LED が点滅します。

パワーインジケータライト - MIDIBOX の電源が入ると LED が点灯します。

内部ジャンパースイッチ



内部ジャンパースイッチはポート 1 から 6 の送信方法を MIDI via ring または via tip から選択できます。またいくつかのデバイスで必要な ring powered または floating も設定できます。このジャンパースイッチ設定により、MIDI BOX は全ての MIDI TRS デバイスとの接続を可能にしています。

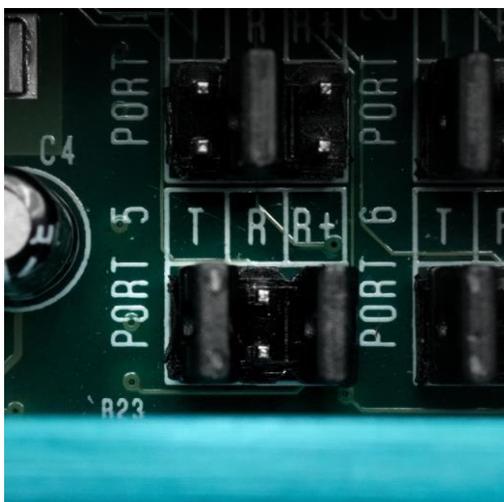
***ポート 7-8 は MIDI via tip, Ring powered で固定されています。**

T - Tip。ジャンパーが T の位置にあるとき、MIDI データは tip から送信されます。

R - Ring。ジャンパーが R の位置にあるとき、MIDI データは ring から送信されます。

R+ - Ring Powered。ジャンパーが R+ の位置にあるとき、ring powered となります。ジャンパーを取り付けられない場合 ring floating となります。

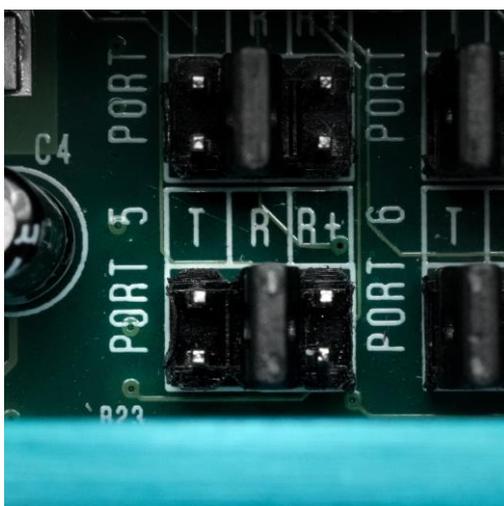
以下が 1-6 ポートで設定可能な例です。



T - MIDI via tip

R+ - Ring powered

標準的な MIDI 信号設定です。BOSS、Empress、Jackson、Cooper FX などに対応します。



R - MIDI via ring

Tip floating (unpowered)

Chase Bliss Audio の TRS MIDI に対応する設定です。



T - MIDI via tip

Ring floating (unpowered)

Meris の TRS MIDI に対応する設定です。